



○ 声に出して読みましょう。読めたら○をひとつぬりましょう。

P260	P258	P250	P242	P200
見るなのざしき	古典に親しもう 「浦島の太郎」(御伽草子) 「犬と肉の事」(伊曾保物語)	ニュース番組作りの現場から 清水 建宇	のどがかわいた ウーリー＝オルレブ 作 母袋夏生 訳 下田昌克 絵	わらぐつの中の神様 杉 みき子 作 黒井 健 絵
○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

○「わらぐつの中の神様」を読んで、作品の特色についてまとめましょう。

👉 教科書 p 222 たいせつ「作品の特色をとらえる」を参考にしましょう。
書けたら、おうちの人に読んでもらったり、自分で話したりしましょう。

○ 次の(1)～(10)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。



- (1) たんぽぽのわたげ。
- (2) ごちそうにしたつづみを打つ。
- (3) 祖母とはかまいりに行く。
- (4) しょうひぜいを計算する。
- (5) 海外からのゆにゆうひん。
- (6) チームによるだんたいせん。
- (7) のうこうちたいが広がる景色。
- (8) かんりじむしょに問い合わせる。
- (9) つるのおんがえし。
- (10) お年玉付きのねんがはがき。
- (11) ほとけごころを起こす。
- (12) なれた手つきでひもを結ぶ。
- (13) 毎日通った思い出のこうしゃ。

(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
	れた			し						り		

教科書「言葉 複合語」(p.195)、「わらぐつの中の神様」(p.200)、「一まいの写真から」(p.224)で確かめましょう。